

第1回「省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業
(機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発)」
終了時評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 2022年11月2日(水) 10:00~12:00

2. 場 所 経済産業省本館5階5-B会議室及びオンライン(Webex)

3. 出席者

(評価検討会委員) ※座長

※伊藤 聡	公益財団法人計算科学振興財団 チーフコーディネータ
一井 明	一般社団法人化学情報協会 理事長
楠原 洋之	東京大学大学院薬学系研究科 教授
原田 房枝	日本化粧品工業連合会 サステナビリティ部長
平林 容子	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 研究センター長

(研究開発実施者)

船津 公人	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
庄野 文章	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
小島 肇	国立医薬品食品衛生研究所
山崎 浩史	学校法人昭和薬科大学
吉成 浩一	静岡県公立大学法人静岡県立大学
植沢 芳広	学校法人明治薬科大学
北島 正人	富士通株式会社
近藤 裕治	富士通株式会社
芦ヶ原 千里	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

(事務局)

製造産業局 化学物質管理課	
課長	水野 良彦
製造産業局 化学物質管理課 化学物質リスク評価室	
化学物質リスク評価企画官	濱口 千絵
課長補佐	鈴木 政雄
技術係長	小山 夕実
技術係	清水 祐樹

(評価推進部署)

産業技術環境局 研究開発課

技術評価専門職員

宝関 義隆

4. 配布資料

資料1 評価検討会委員名簿

資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について

資料3 経済産業省における研究開発評価について

資料4 評価方法(案)

資料5 評価コメント及び評点票

資料6 技術評価報告書の構成(案)

資料7 評価用資料

資料8 補足説明資料

質問票

参考資料1 「省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業(機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発)」基本計画

参考資料2 「省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業」技術評価報告書(中間評価)

5. 議事概要

(1) 開会

委員の互選によって、伊藤委員が本検討会の座長に選出された。

(2) 研究開発評価に係る委員会等の公開について

事務局から、「資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について」により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配布資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

評価推進部署から「資料3 経済産業省における研究開発評価について」、「資料4 評価方法(案)」、「資料5 評価コメント及び評点票」、「資料6 技術評価報告書の構成(案)」により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

(4) 事業の概要について

事務局及び研究開発実施者から、「資料8 補足説明資料」により、省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業(機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発)の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・ AI-SHIPS 統合的毒性予測システムを社会実装するには、本システムをさらに高度化する必要がある。
- ・ 事業終了後、AI-SHIPS 統合的毒性予測システムを継続的に管理・運営していくには、本システムの利用をビジネス化するという観点も必要ではないか。
- ・ 事業者にとっては AI-SHIPS 統合的毒性予測システムが法的に受け入れられることが望ましいため、受け入れ可能な方策を検討してほしい。

(5) 閉会

「資料5 評価コメント及び評点票」の提出期限を令和4年11月16日とすることを確認した。また、第2回評価検討会は令和4年12月5日に開催し、開催方法について後日連絡することとした。

以上

お問合せ先

製造産業局 化学物質管理課 化学物質リスク評価室

電話：03-3501-0080